

令和元年度社会教育基本計画・事務事業評価(公民館関連部分)集約表

基本目標1		市民一人一人の主体的な学びの機会の充実			
今後の施策事業	関連する事業・取組	内容・実績	評価	評価指標(参考データ)	
				指標名	H30 R元
基本施策1-1 多様なニーズに対応した学習機会、学習情報の提供					
主な取組1-1-1 現代的・社会的な課題やニーズに対応した学習の推進					
①国際化に伴う異なる文化・習慣への理解の促進	国際理解や国際交流に関する講座の開催	百寿大学やシニア大学、まちなか講座などにおいて、高齢者や一般市民向けに、外国の生活や文化について学ぶ「国際理解講座」を開催するとともに、NPOとの共催により、小学生を対象に「楽しく学んでイングリッシュ」を8公民館で実施した。 ・国際理解や国際交流に関する講座 24事業・259回・参加者数 6,441人	NPO法人との共催や、都市交流課や公民館生涯学習活動団体との連携により、アメリカ・ロシア・ブラジル等について文化や言語に触れる講座等様々な学習を実施することで、子どもから高齢者まで幅広い層の市民の国際理解を深め、国際交流に関心を持つきっかけづくりのための学習機会を提供することができた。	国際理解・交流に関する講座の参加者数	6,875人 6,441人
②身の回りや地球規模での資源・環境問題への理解の促進	資源や環境に関する講座の開催	公民館において、ごみの減量など限りある資源を有効活用する方法や、身近にある豊かな自然環境への理解や保全意識を深める講座を開催した。 ・資源や環境に関する講座 38事業・81回・参加者数 2,304人	環境アドバイザーやクリーンセンター等との協力・連携により、市民にとって関心の高いごみの減量や地域の身近な自然環境に関する講座を多く開催し、資源や環境に関する理解や啓発を図ることができた。	資源や環境に関する講座の参加者数	1,945人 2,304人
③情報化に伴うICTの活用促進	IT関連講座の開催	公民館では、日進月歩で発展進化しているIT分野に対応していくために、初心者からITに親しむことができる入門講座等を実施した。 ・IT関連講座 21事業・84回・参加者数 913人	複数の地域でパソコン講座等を実施したことにより、多くの市民がパソコンに親しむきっかけづくりやさらなる知識・技術の習得に資することができた。 また、スマートフォンやタブレット端末に関する講座も開催し、最新の情報機器についての学習機会の提供にも努めた。	IT関連講座の参加者数	1,291人 913人
主な取組1-1-2 ライフステージに応じた学習機会の充実					
①幼児、青少年期の生きる力を身に付ける学習機会の提供	青少年教育に関する事業の実施 ----- 世代間交流事業の実施	公民館では、青少年を対象にものづくりや料理などの創作活動、自然体験、語学学習等、様々な知識や経験を身に付けるための講座を実施したほか、子どもの健全育成支援を目的とした学習支援事業や子ども食堂の取組支援を行った。また、核家族化や少子高齢化が進み、異世代間の交流が希薄化していることから、子どもと高齢者を中心とした異世代との交流を通じて、ふれあいの機会を作る世代間交流事業を実施した。 ・青少年教育に関する事業 81事業・552回・参加者数 10,847人 ・世代間交流事業 18事業・27回・参加者数 2,209人	青少年教育においては、自然や地域の特色を生かした内容を取り入れ、子どもたちの豊かな心を培い、可能性を引き出す事業展開のほか、健全育成のための事業への支援が図られている。 また、世代間交流においては、異世代とのコミュニケーションを通じて、新しい価値観の習得や思いやりの心を育てるための一助とすることができた。	青少年教育事業の実施回数 ----- 世代間交流事業の実施回数	596回 552回 37回 27回
②成人期のキャリアアップや趣味、教養に関する学習機会の提供	成人学習に関する事業の実施	公民館では、保健・医療・介護・食などに関する学習、パソコン・タブレットなどのIT学習、消費トラブルなどの法律知識及び国際理解に関する学習など、多種多様な分野・内容で、成人向けに趣味や教養に関する講座を実施した。 ・成人学習に関する事業 121事業、441回、参加者数 8,910人	講座の開催に当たっては、各専門機関との連携やボランティアの協力を得るなど、工夫を凝らしながら取り組んでおり、多様な分野でニーズに応える学習機会を提供できた。	成人学習事業の実施回数	469回 441回
③高齢期の生きがいづくりなどに関する学習機会の提供	高齢者学習に関する事業の実施	公民館では、高齢者の学びの場として、百寿大学やシニア大学を中心に、仲間づくりや趣味・教養、健康の維持・増進など、健康で豊かな日常生活を過ごすための講座を開催した。 ・百寿大学・シニア大学等の開催 25事業・840回・参加者数 25,580人 ・その他の高齢者向け講座 22事業・195回・参加者数 4,091人 ・合計 47事業・1,035回・参加者数 29,671人	高齢者の仲間づくりや、趣味、生活情報、軽スポーツに関する講座を、年間カリキュラムに基づく各公民館の百寿大学やシニア大学、市民講座等において実施し、高齢者が社会との関わりを持ちながら豊かな人生を過ごすことに寄与できた。	高齢者学習事業の実施回数	1,100回 1,035回
主な取組1-1-3 学習機会の選択を支援する情報提供の充実					
①講師情報や活動団体に関する情報の提供	生涯学習活動団体(サークル)の情報提供	公民館を拠点に活動する生涯学習活動団体(サークル)の情報を各公民館のホームページや生涯学習ポータルサイトで紹介し、市民に生涯学習活動に取組む団体の情報提供を図った。 ・生涯学習活動団体の登録数(年間累計) 642団体	様々な生涯学習活動を行う団体の情報を、全公民館ホームページや生涯学習ポータルサイトにて紹介するとともに、館内掲示や公民館だより等の紙媒体での情報発信を行い、市民の学習機会の選択の支援と生涯学習活動への参加意欲の喚起を図ることができた。	生涯学習活動団体の登録数	687団体 642団体
基本施策1-2 子育てをする家庭の教育力の向上					
主な取組1-2-1 親や保護者の育ちを支援する取組の充実					
①家庭教育に関する学習機会の充実	家庭教育支援に関する事業の実施	親子で農業・工作・料理などの体験学習や読み聞かせ、幼児・小学生と百寿大学生との世代間交流、乳幼児を持つ親に対する学習など、子どもと保護者が一緒に参加し学習できる講座を実施した。 ・家庭教育支援に関する事業 56事業・209回・参加者数 5,308人	講座内容については、親子が共同で取り組めるものを主体とし、楽しみながら学習を深めるとともに、保護者同士の交流の機会となるなど、家庭教育の支援の場としての役割を果たすことができた。	家庭教育支援事業の実施回数	224回 209回
②父親の家庭教育への参加を支援する取組の充実	親子参加型事業の休日における実施	公民館では、親子で休日を有効に過ごすため、農業や自然、工作や陶芸、料理などの体験型講座を実施している。 ・休日に開催した親子参加型事業 21事業・41回・参加者数 869人	父親にも参加してもらえるよう、開催日を土曜日や日曜日としており、親子ふれあい農業体験などでは、両親での参加も見られ、父親の家庭教育参加に一定の効果があった。	休日に実施した親子参加型事業の実施回数	37回 41回
主な取組1-2-2 親や保護者を孤立させない環境の整備					
①交流会やサークル情報等の提供	公民館報の配付 ----- 生涯学習活動団体(サークル)の情報提供	公民館において開催する子育てサロン・子育て広場の講座情報や公民館の生涯学習活動団体として登録する育児サークルの情報を各公民館のホームページや生涯学習ポータルサイト、公民館だよりで紹介し、子育て中の保護者に情報提供を図った。 ・公民館だより発行回数 12館 ・生涯学習活動団体の登録数(年間累計) 642団体	公民館において開催する子育てに関する講座や育児サークルの情報を各公民館のホームページや広報誌、家庭教育・子育て行事等カレンダー等により発信し、子育て中の保護者に交流の機会に関する情報提供を図ることができた。	公民館だより発行回数 ----- 生涯学習活動団体の登録数	11館 12館 687団体 642団体
②子育て中の親や保護者のネットワークづくりの支援	子育てサロン等の実施	公民館では、地域の民生委員児童委員協議会等と連携して、子育てサロンや子育て広場等を開設し、保護者同士の交流や学習の場を提供している。 ・子育てサロンや子育て広場の実施 10事業・158回・参加者数 3,653人	関係機関の協力を得ながら、子育てサロンや子育て広場等を定期的に開設しており、保護者同士の交流の機会とするほか、子育て中の親が孤立することのないよう相談に応じるなど、地域における子育て支援の場としての役割を果たすことができた。	子育てサロンや子育て広場の実施回数	142回 158回

基本目標2 市民の学びを支える環境の整備

今後の施策事業	関連する事業・取組	内容・実績	評価	評価指標(参考データ)	
				指標名	H30 R元
基本施策2-1 施設運営や事業展開に工夫を凝らした学習しやすい環境の整備					
主な取組2-1-1 市民の学習ニーズに応じた学習環境の整備					
①市民の学習ニーズを反映した社会教育施設の運営	各公民館の管理運営	各公民館の運営や施設利用に支障がないよう、維持管理を実施した。 また、西神楽公民館、春光台公民館の2館は、指定管理者制度による管理運営を実施した。	各公民館に必要な業務委託を実施し、適切に管理運営を行った。また、神楽市民交流センター清掃業務委託は仕様を見直し、業務委託費や建物維持管理費の削減を図った。 指定管理者制度導入の公民館においては、地域ニーズに則した運営が図られており、西神楽公民館については3期目の基本協定を締結した。	-	-
②誰もが利用しやすい社会教育施設の整備	施設開放事業の実施 ----- 公民館の補修・改修	地域住民が気軽に利用でき、交流できる場として、卓球・囲碁・ミニテニス等の開放事業を実施した。 また、利用者が安全で快適に使用できるよう、必要な補修や改修を実施した。 ・施設開放事業 35事業・1,476回・利用者数 16,498人	団体利用を基本とする公民館において、施設開放はどの世代においても個人で利用することができることから、多様な利用ニーズに沿った施設提供を実施した。 また、集合煙突吹付アスベスト飛散防止処理として、東旭川公民館日の出分館の集合煙突囲い込みや暖房設備替を実施した。その他にも快適性を向上するため、中央公民館第1学習室へのエアコン新規設置などを行った。	施設開放事業の実施回数	1,641回 1,476回
③社会教育施設の拠点機能の充実	まちづくり推進協議会の活動支援	公民館では、地域まちづくり推進協議会の事務局等として、市民生活部地域まちづくり課や各支所と共に推進協議会の運営支援に参画した。 ・令和元年度は、13公民館がまちづくり推進協議会に事務局又は必要に応じて参画した。	地域まちづくり推進協議会の事務局等として参画することにより、地域課題の把握や地域に根ざした公民館運営に資することができた。	-	-
主な取組2-1-2 関係機関等との多様な連携による学習環境の整備					
①高等教育機関等との連携による高度な学習機会の提供	市内高等教育機関等との連携による講座の実施 ----- 地域再発見事業の実施	シニア大学や各公民館百寿大学、市民講座等において、市内の高等教育機関等からの講師派遣や協力を受け、それぞれの機関の専門分野を生かした講座を実施した。 ・高等教育機関等と連携した講座 47事業・180回・参加者数 3,874人 ・地域再発見事業 50事業・112回・参加者数 2,956人のうち、 該当 3事業・3回・参加者数 90人	高等教育機関等の協力のもと、各機関の持つ高い専門性や幅広い分野でのノウハウを生かし、旭川全域や一部地域における特色ある環境・文化・歴史等の資源を生かした講座を展開した。	高等教育機関等と連携した講座の実施回数 ----- 地域の特色を生かした事業の実施回数 ----- 地域の特色を生かした事業への参加者数	183回 180回 88回 112回 2,105人 2,956人
②社会教育関係団体等との連携による特性を生かした学習機会の提供	社会教育関係団体等との共催事業の実施 ----- 地域再発見事業の実施	シニア大学や各公民館百寿大学、市民講座等において、様々な分野のNPO法人や団体等から講師派遣や協力を受け、それぞれの専門分野を生かした講座を実施した。 ・各種団体などと共催で実施した事業 84事業・752回・参加者数 20,775人 ・地域再発見事業 50事業・112回・参加者数 2,956人のうち、 該当 23事業・26回・参加者数 1,966人	様々な分野の社会教育関係団体等と共催、又は連携しながら、旭川全域や一部地域における特色ある環境・文化・歴史等の資源を生かした講座を開催し、幅広い世代に学習機会を提供することができた。	各種団体等と共催で実施した事業の実施回数 ----- 地域の特色を生かした事業の実施回数 ----- 地域の特色を生かした事業への参加者数	780回 752回 88回 112回 2,105人 2,956人
③市長部局との積極的な連携による学習機会の提供	市長部局との共催事業の実施や出前講座の活用 ----- 地域再発見事業の実施	公民館では、市長部局との連携・協力による共催事業の実施や出前講座による講師派遣等を活用して、様々な学習分野において多様な内容の講座を実施した。 ・市長部局との共催事業や出前講座 45事業・163回・参加者数 3,895人 ・地域再発見事業 50事業・112回・参加者数 2,956人のうち、 該当 11事業・12回・参加者数 254人	市長部局との事業共催や講師派遣により、行政機関のノウハウを生かしたまちづくりや農業・環境などの講座など多岐にわたる分野で学習機会を提供することができた。	市長部局との共催事業や出前講座の実施回数 ----- 地域の特色を生かした事業の実施回数 ----- 地域の特色を生かした事業への参加者数	174回 163回 88回 112回 2,105人 2,956人

基本目標3 地域における学びの循環

今後の施策事業	関連する事業・取組	内容・実績	評価	評価指標(参考データ)	
				指標名	H30 R元
基本施策3-1 地域における教育力の向上					
主な取組3-1-1 市民が主体となって学習成果を還元できる環境の整備					
①シニア世代などの知識・技術を生かした活動の場の提供	世代間交流事業の実施	公民館では、核家族化や少子高齢化が進み、異世代間の交流が希薄化していることから、高齢者がこれまでの人生の中で培ってきた知恵や経験を生かして、地域の小学生等と交流を図る世代間交流事業を実施した。 ・世代間交流事業 18事業・27回・参加者数 2,209人	世代間交流においては、高齢者が自らの知恵や経験を生かした活動が展開でき、また子どもたちとの交流をとおり、他世代に対する理解を深めるための一助とすることができた。	世代間交流事業の実施回数	37回 27回
②学習成果を生かしたボランティア活動の促進	シニア大学の学生等によるボランティア活動	シニア大学での学習を通して、学生がごみのポイ捨て禁止運動や赤い羽根共同募金などのボランティア活動に積極的に参加した。また、卒業生等による自主組織である「シニアの会」では、食べまらシエでのイベント支援のほか、「まちなか講座」の運営に協力してもらった。 また、院2年生による「我が街旭川」の調査・研究成果を、4つの百寿大学とシニア大学1年の共通メニュー講座においてボランティア講師として発表した(平成30年度から)。 ・シニア大学の学生等によるボランティア活動 参加者数 348人	シニア大学の学生や卒業生を中心とした自主活動団体による継続的なボランティア活動及び大学院生による「我が街旭川」の取組において、学習の成果を地域に還元することができた。	シニア大学学生等のボランティア活動の参加者数	343人 348人
主な取組3-1-2 地域社会を担う団体や人材の育成支援					
①社会教育関係団体の育成支援	社会教育関係団体等との共催事業の実施	公民館では、家庭教育・青少年・成人・高齢者等幅広い分野において、NPO法人や地域の民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、地域包括支援センター等と共催して、それぞれの特性を生かした学習機会を提供している。 ・社会教育関係団体等と共催で実施した事業 84事業・752回・参加者数 20,775人	様々な分野の社会教育関係団体等と共催しながら、子育てサロンや健康講座、子ども向けの外国語講座等を定期的に開設し、幅広い世代に多様な学習機会を提供することができた。	各種団体等と共催で実施した事業の実施回数	780回 752回
②指導者の育成支援に向けた取組の充実	シニア大学・大学院の開設	シニア大学・大学院は、豊かな人生経験をもとに、時代の変化に対応した新しい知識や教養を身につけるとともに、学びの成果を積極的に地域社会に生かし、まちづくりの一翼を担う人材を輩出することを目的に開設している。 ・開設場所 旭川市1条通8丁目 フィール旭川 7階 ・開設期間 毎年5月から翌年2月まで ・開設学級 大学4年生、大学院2年生 ・学習日等 各学年月2回、午前・午後各2時間の講義、年間おおよそ34講座	シニア大学の学生や卒業生等の自主活動団体による継続的なボランティア活動及び大学院生による「我が街旭川」の取組において、学習の成果を地域に還元することができた。 また、学生数自体は減少傾向にあるが、新たなカリキュラムの導入により、シニア大学の開設目的を理解し、学びの成果をまちづくりの活動につなげようとする意欲は増しつつある。	シニア大学・大学院の学生数	239人 231人

基本施策3-2 家庭、地域、学校の連携					
主な取組3-2-1 家庭、地域、学校の連携による青少年などの活動を支援する取組の充実					
①地域における青少年の学習活動の充実	家庭教育支援、青少年教育に関する事業の実施	公民館では、家庭教育支援事業として、親子で農業・工作・料理などの体験学習、読み聞かせ、幼児・小学生と百寿大学生らとの世代間交流及び乳幼児を持つ親に対する学習など、子どもと保護者が一緒に参加し、学習できる講座を実施した。 また、青少年教育では、ものづくりや料理などの創作活動、自然体験、語学学習等、様々な知識や経験を身につけるための講座を実施したほか、子どもの健全育成支援を目的とした学習支援事業や子ども食堂の取組支援を行った。 ・家庭教育支援に関する事業 56事業・209回・参加者数 5,308人 ・青少年教育に関する事業 81事業・552回・参加者数 10,847人	地域の学校や保育所、関係団体・機関との連携を図りながら、家庭教育支援事業や青少年教育事業を展開することによって、より内容の充実した講座等を提供することができた。	家庭教育支援事業の実施回数 青少年教育事業の実施回数	224回 209回 596回 552回
②子どもたちを中心とした交流による学び合いの場の提供	世代間交流事業の実施	公民館では、核家族化や少子高齢化が進み、青少年が異世代との交流を図る機会が少なくなっていることから、小学生と高齢者を中心に、お互いの学び合いの場として世代間交流事業を実施した。 ・世代間交流事業 18事業・27回・参加者数 2,209人	小学生と高齢者による世代間交流事業では、小学生は昔遊び等を通して伝統に触れる機会となり、高齢者にとっては自らの知恵や経験を伝える機会となっており、お互いの学び合いや新しい価値観を見出すための一助とすることができた。	世代間交流事業の実施回数	37回 27回
③家庭、地域、学校との連携を更に深める取組の充実	学校や地域団体など関係機関との連携	公民館では、家庭教育・青少年・成人・高齢者等幅広い分野において、学校やNPO法人、地域の民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、地域包括支援センター等と共催や連携を図りながら、それぞれの特性を生かした学習機会を提供した。 ・各種団体等と共催や連携した事業 199事業・1,440回・参加者数 41,504人	公民館において、学校や地域の関係機関と共催や連携、協力しながら、世代間交流や子育てサロン、子ども向けの外国語講座等を定期的に開設し、幅広い世代に多様な学習機会を提供することができた。	各種団体等と共催や連携した事業の実施回数	1,239回 1,440回

基本目標4 市民の心を豊かにする文化芸術活動の充実

今後の施策事業	関連する事業・取組	内容・実績	評価	評価指標(参考データ)	
				指標名	H30 R元
基本施策4-1 文化芸術活動に関わりを持つ機会の充実と独自性ある取組の充実					
主な取組4-1-1 文化芸術に親しむ機会の充実					
③関連施設の機能を生かした文化芸術活動の推進	木楽輪夢コンサートの開催 木楽輪ロビーのグランドピアノの開放	神楽公民館に付設している木楽輪(きらりん)で、地元アマチュア演奏家に発表の機会を提供し、その演奏を市民が楽しむ夢コンサートを開催した。 また、木楽輪のロビーに設置しているグランドピアノを活用し、市民がピアノに直接触れ、音楽に親しむ機会を提供するとともに、木楽輪の利用促進を図るため、毎月第1月曜日と火曜日に開放事業を行った。 ・木楽輪夢コンサートの開催 6回・参加者数 652人 ・木楽輪ロビーのグランドピアノの開放 22回・利用者数 372人	木楽輪での夢コンサートとグランドピアノの開放は、各回の満足度が高いことや事業の認知度の高まりにより、毎回一定数の参加があることから、着実に活動機会の提供とその利活用が図られてきている。	木楽輪夢コンサート実施回数 木楽輪夢コンサート参加者数 木楽輪ロビーのグランドピアノ開放の実施回数 木楽輪ロビーのグランドピアノ開放の利用者数	6回 6回 578人 652人 24回 22回 428人 372人
主な取組4-1-2 文化芸術活動への支援					
①文化芸術に関わる団体への支援や人材の育成	木楽輪夢コンサートの開催(アマチュア演奏家の発表機会提供)	神楽公民館に付設している木楽輪(きらりん)で、地元アマチュア演奏家に発表の機会を提供し、その演奏を市民が楽しむ夢コンサートを開催している。 ・木楽輪夢コンサートの開催 6回・参加者数 652人	木楽輪での夢コンサートは、認知度が高まったことにより、毎回一定数の増加を得られていることから、出演するアマチュア演奏家にとって活動のモチベーションアップにつながっているものと考えられる。	木楽輪夢コンサート実施回数 木楽輪夢コンサート参加者数	6回 6回 578人 652人
②関係団体等と連携した文化芸術活動の推進	公民館まつりや文化祭の開催	公民館を拠点として活動している生涯学習活動団体の活動成果の発表の場として、各公民館において公民館まつりや文化祭等を開催し、舞踊や合唱、写真や絵画など様々な発表・展示を行い、文化芸術活動を推進した。 ・公民館まつりや文化祭の開催 14公民館・事業係・38日間・参加者数 23,136人	公民館まつりや文化祭は、公民館で活動する生涯学習活動団体の日頃の活動成果を発表する場であり、開催に当たっては、これらの団体で構成する実行委員会等による運営が行われており、参加団体間の連携協力や相互理解を深める場にもなっている。	公民館まつりや文化祭の参加者数	21,287人 23,136人

基本目標5 郷土文化の保存・活用と郷土愛の育成

今後の施策事業	関連する事業・取組	内容・実績	評価	評価指標(参考データ)	
				指標名	H30 R元
基本施策5-1 郷土文化の保存・活用と郷土愛の育成					
主な取組5-1-2 郷土愛を育むための取組の推進					
①郷土の文化に接する機会や、郷土を再発見し愛着や誇りを高める取組の充実	地域再発見事業の実施	公民館では、旭川全域や一部地域における特色ある環境・文化・歴史等の資源を生かした講座を展開した。 ・地域再発見事業 50事業・112回・参加者数 2,956人	地域の自然、歴史等の講座を実施することで、地域への愛着や関心を高めるとともに、これからの地域づくりについて考える機会とすることができた。	地域の特徴を生かした講座の実施回数	88回 112回